

# 新緑

No104号 日本共産党高取支部  
2020年5月発行

## なんでも相談

子育て・介護・その他困っている事等  
気軽にご相談ください。



高取町議会議員

新沢あけみ

0744-52-4408

メール an330317@aurora.ocn.ne.jp

## 新型コロナウイルス危機を みんなで乗り越えよう！

町は、住民や職員の命と暮らしを守るために  
正確な情報の伝達と対策の実施を

### 町は職員の感染を公表せず

5月18日の議会運営委員会  
員会で、町は職員の感染  
について、初めて言及し  
ました。「5月1日に職員  
の感染が確認されました  
が、当該職員は、発症2日  
以前には出勤しておりま  
せん。したがって、町職員  
に濃厚接触者が存在して  
いないこと、並びに、庁舎  
などの消毒の必要がない  
ことを中和保健所から確  
認しております。つきま  
しては、職員及び住民の  
みなさまの来庁に関して、  
感染リスクがないことを  
お知らせします。」とい  
うことでした。

質疑で明らかになった  
ことは、感染の情報を知  
っていた町長と一部幹部職  
員だけが、保健所と対応  
していた事です。「何故、  
高取町新型コロナウイルス  
感染症対策本部会議に

報告しなかったのか」。の  
問いに、「職員の個人情報  
のため」「保健所の  
判断で大丈夫という  
ことであった。実際  
その後感染者はでて  
ない。」「何ら問題  
はない」と強弁。新  
沢あけみ議員は、  
「何のための対策本  
部なのか。」「庁舎  
内で感染拡大してい  
るかもしれない。樺  
原地域で保健所を介  
さないPCR検査を  
実施するのに、なぜ  
職員の検査をしなかつ  
たのか。」「今から  
でも検査をした上で  
住民に経過の公表を  
すべきではないか。」「  
と意見を述べました。  
対策本部は18日、  
「今後、対策本部・  
議会と情報の共有を



する。」「25日、「ホ  
ムページで住民への周知  
は行わない。」と決定し  
ています。

### 新沢あけみ議員がこれまで議会等で 要望してきた主な事項



- ・窓口体制を整え、危機管理を強化する。
- ・住民にわかりやすく啓発し情報を提供する。
- ・町内企業・民間団体・福祉施設等との連携を図る。
- ・平時からのマスクや消毒薬等の備蓄をする。
- ・幼・小・中学校の休業に伴う在宅の子どもたちの健康・安全・学習の実情を把握して見守り。補習などの対策をする。
- ・放課後児童クラブについては、3密を避けるために小学校校舎も利用する。  
また現在登録していない児童で、保育に欠ける子を受け入れる体制をつくり、全保護者に知らせる。
- ・ボランティアによる布製マスク普及も呼びかけて、子どもたちに支給する。
- ・ひとり住まいの高齢者の見守りを住民の協力も得て、すすめる。
- ・国民健康保険の傷病手当制度をつくる。
- ・国民健康保険税・介護保険料の減免制度で収入減対策をする。

### 町の当面の動向 (5月25日現在)

- ・6月から公共施設が開放されます。
- ・幼稚園・小学校・中学校は5月26日から自主登園・分散登校が始まり、6月8日から全日となる予定です。
- ・6月2日から5日の高取町第2回定例議会、町独自のコロナ対策について報告・議論されます。

### 本日がわかる 明日がみえる

原発、憲法、消費税、雇用、TPP...「本日のこと  
が知りたい」その思いにこたえる新聞です。  
くらしに役立つ情報も満載です。



●毎日配達の日刊紙 月 3,497円  
●毎週配達の日曜版 月 930円

あけみ日誌

「ご入学、ご進級おめでとうございます。コロナで様々な困難が続いています。子どもたちが健やかに成長できるように、私もその一助を担えたらと思っています。小学校の全学年における少人数学級が、関係者の皆さんのご尽力で実現されています。これまでの政治のあり方、税金の使い道で、本当に命や暮らしが守られてきたのか、今一度立ち止まる時が来たのではないのでしょうか。



# 3月議会報告

全・教育環境の充実に努めるよう求めました。

や歩道整備を中心に実施するよう求める。

## 新沢あけみ議員の一般質問

### 近鉄壱阪山駅周辺の歩道の整備を

下土佐交差点を中心とした歩道が未整備でとても危険です。一つは交差点から町役場への県道榎原高取線、ここは中学校の通学路であるにも関わらず歩道が無く大変危険です。これは長年の課題でありましたが、今回の回答も「実現は難しい」ということでした。

コロナウイルス対策について(表ページ参考)

### 防災、命を守るハザードマップを生かそう!

洪水・土砂・地震・ため池災害のハザードマップの住民周知と災害時避難行動の取り組みについて

(回答) 総合的なハザードマップを令和2年度中に全家庭に配布します。令和元年度は、土砂災害地域防災マップづくりワークショップを開催し、各大字内の危険箇所、消火栓・消化器・防災無線設置箇所の把握、避難経路や避難体制・自治会で行えること等を確認しました。今後、これらをもとに地図を製作して大字に提供し、研修を重ねていきます。

災害時に配慮が必要な人

(高齢者・障害者・乳幼児・妊産婦・傷病者・内部障害者・難病患者等)を受け入れる福祉避難所の指定について、

(回答) 令和2年度中に受け入れ施設を指定して取り組みをすすめます。

品や工芸品を置く喫茶室として、もう一部屋をレンタルスペースとして利用し、指定管理者に業務委託するということで、すでに、議会開会前にプレイベントのチラシが配布されています。

「なぜ起業したい人を募集しないのか。」「何をするための施設なのか。」と設置条例否決の意見が次々と出され、同様の意見を述べました。(委員会)

「なぜ起業したい人を募集しないのか。」「何をするための施設なのか。」と設置条例否決の意見が次々と出され、同様の意見を述べました。(委員会)

「なぜ起業したい人を募集しないのか。」「何をための施設なのか。」と設置条例否決の意見が次々と出され、同様の意見を述べました。(委員会)

新沢あけみ議員は、上程された19案件中11案件賛成7案件に反対し、1案件は議案撤回されました。次に予算委員会です述べた主な意見を紹介します。(一般会計予算には本人を含めて反対2名)

◆統合幼稚園三億五千八百万円。屋上園庭で、小学校横に建設することに問題提起をしましたが、町の方針は変わらず。児童の安

業五百万円 土佐街道で観光用の特別な車両を2日走らせる実証実験です。今緊急に必要なのは、高齢者の移動手段を確保することで、十分な検討もされてない事に税金を使つべきでない。

◆医療ツーリズム事業(重粒子放射線医療施設の誘致) 三百三十万円。業者公募の経費で、見通し不明な公金を支出すべきでない。

◆壱阪山駅前整備事業四百万円繰り越し、交差点改良

◆介護保険料について、基金約七千万円の一部を取り崩して税の引き下げや、低所得者の利用料の軽減を求めました。

◆学校給食費が引き上げられます。一般会計から総額百万円を補填して据え置きを求めました。

◆国民健康保険税がひとりあたり2%引き上げられます。基金一億七千万円の一部を取り崩して税の引き下げと未成年者の均等割の減免を求めました。

## 町のこれまでの対策

- 学校休業に伴い、学校は家庭訪問・YouTubeによる動画授業・DVD(中学校)を実施。
- 放課後児童クラブについては、朝から、教職員の対応で小学校施設も利用して実施。
- 子育て応援テイクアウト弁当6日間600食完売(民間を助成)
- マスクの全世帯配布はほぼ終了
- 妊婦・医療機関・高齢者施設・幼小中学校等へマスク配布。
- 民生委員さんから幼稚園・小学校へ手作りマスク、業者さんからマスク・フェイスシールドが届けられました。
- 次亜塩酸水を全世帯へ5月末から配布予定。
- 特別給付金(1人10万円)の申請書の郵送は完了しており、現在2200件の処理がされ順次振り込みされています。
- セーフティーネット融資の受付32件
- 緊急小口資金貸付金の受付10件
- 生活支援資金貸付金の受付1件
- 5月13日から、榎原地域感染症外来でPCR検査が実施されています。



◆国民健康保険税がひとりあたり2%引き上げられます。基金一億七千万円の一部を取り崩して税の引き下げと未成年者の均等割の減免を求めました。

◆国民健康保険税がひとりあたり2%引き上げられます。基金一億七千万円の一部を取り崩して税の引き下げと未成年者の均等割の減免を求めました。

◆国民健康保険税がひとりあたり2%引き上げられます。基金一億七千万円の一部を取り崩して税の引き下げと未成年者の均等割の減免を求めました。

◆国民健康保険税がひとりあたり2%引き上げられます。基金一億七千万円の一部を取り崩して税の引き下げと未成年者の均等割の減免を求めました。